



体表温度測定モジュール 0EP-BTM32-NB クイックガイド

V1.00

1 同梱品リスト

番号	名前	数量
1	体表温度測定モジュール	1
2	接続延長 4 本ケーブル	1
3	M3x6 ネジ	2

2 製品概要

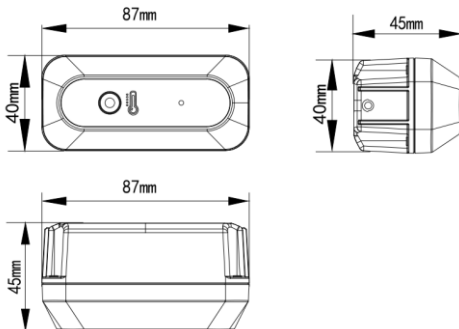
体表温度測定モジュールは、人体温度測定用の非接触デバイスです。シンプルな外観で、高精度で誤差の少ない、広範囲にわたり温度測定が可能なことを特徴としています。RS485 インターフェースを介して顔認証マルチターミナルに接続することができます。本モジュールは、温度測定と従業員情報との連携にも対応します。従業員情報を迅速に特定し、体温を測定し、体温が異常に高い人物に警報を発することができます。また、温度のしきい値を設定して、人物のアクセス許可を厳密に制御できます。本モジュールは、アクセス制御など、厳密な温度測定を必要とするアプリケーションに適用できません。

1 環境条件

- 屋内使用
- 高度：< 2000m
- 環境温度：+15°C ~ +30°C
- 相対湿度：< 95% RH
- 主電源電圧変動：DC12V±10%
- 使用環境はほこりの少ない状態である事

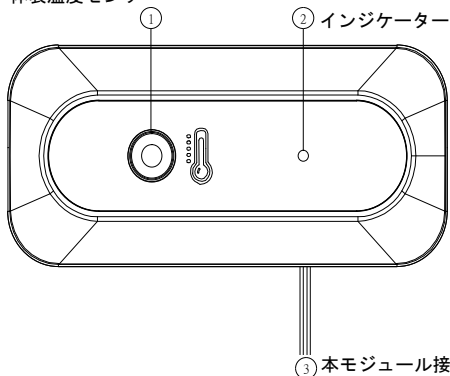
2 外観と寸法

本モジュールの外観と寸法を示します。（実際の製品が優先されます。）



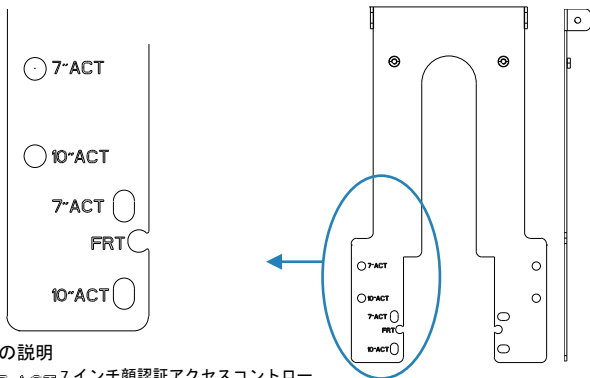
3 構造とケーブル

体表温度センサー



4 取り付けブラケット

体表温度測定モジュールを顔認証マルチターミナルと組み合わせて使用する場合、取り付けにはブラケット EP-SZ66 が必要です。



穴の説明

7"ACT 7インチ顔認証アクセスコントローラターミナルを固定するための穴

10"ACT 10インチ顔認証アクセスコントローラターミナルを固定するための穴

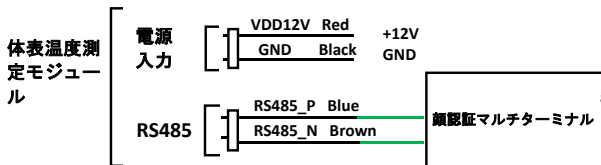
FRT 7インチ顔認識マルチターミナルを固定するための穴

3 デバイスの取り付け

3.1 デバイスの配線

1 配線の説明

下図は、体表温度測定モジュールと他のデバイスとの配線を示しています。各機器の配線端子については、機器の取扱説明書をご覧ください。販売店にお問い合わせください。



3.2 工具の準備

- プラスドライバー

3.3 取り付け手順

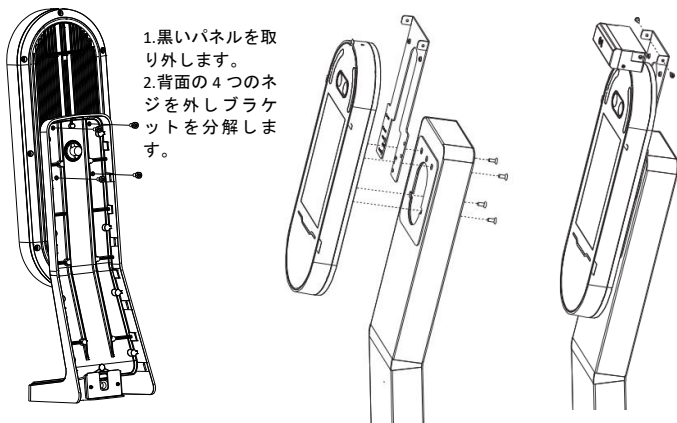


注意

体表温度測定モジュールを取り付ける前に、「デバイスの配線」セクションと、顔認証マルチターミナルのクイックガイドの配線関連のセクションを参照して、本モジュールと顔認証マルチターミナルをケーブルで接続してください。

1) デスクトップスタンドへの取り付け

下図は、体表温度測定モジュールを顔認証マルチターミナルと組み合わせて使用する場合の、デスクトップスタンドへの手順を示しています。



4 デバイスの起動

1 デバイスの電源投入

デバイスを正しく設置した上で、電源アダプター(別売)を主電源に接続して起動します。

2 デバイス設定

ローカル設定

体表温度測定モジュールを顔認証マルチターミナルと組み合わせて使用する場合、顔認証マルチターミナルの認証シーンメニューから温度測定機能を有効にすることができます。メイン画面をタップして3秒以上長押ししてください。正しいアクティベーションパスワードを入力して、アクティベーションの設定インターフェースに進みます。

< 認証シーン

温度測定のみ
 顔検知 + 温度測定
 顔認証 + 温度測定

ヒント：その他の認証設定を行うには、Web画面にログインして設定してください。

マスク検知

温度単位 °C °F

温度測定範囲 35.5 °C ~ 42.0 °C

温度アラームしきい値 37.3 °C

ヒント：アラームのしきい値を超えると、異常な高温になります。

保存

Web インターフェースでの設定

顔認証マルチターミナルの Web インターフェースにログインして、**セットアップ**>**インテリジェント**>**詳細設定**を選択して温度測定機能を有効にします。

温度測定

温度測定 顔の温度を測定します 手の温度を測定します

認証が失敗し、ドアを開... オフ オン

温度単位 摂氏°C

温度測定範囲 35.5 ~ 42.0

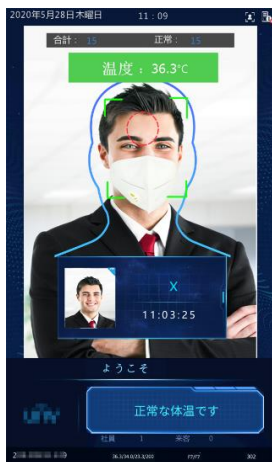
温度アラームしきい値 37.3

温度アラート オフ オン

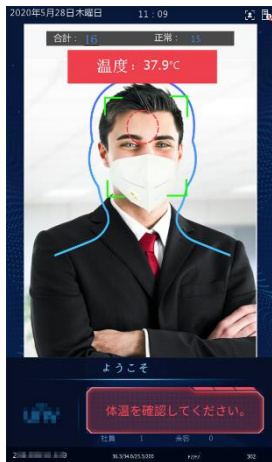
温度アラートオフセット 0.3 (温度アラートしきい値=温度アラームしきい値-温度アラートオフセット)

3 デバイスの操作

温度を測定する必要がある場合、対象者は画面上の人間の形に近づき、額の中心を赤い円に合わせる必要があります。



通常温度



異常温度

5 よくある質問

障害/症状	ソリューション
体温が測定できない場合はどうしたらいいですか？	<ol style="list-style-type: none">1. 測定距離が適正か確認してください。推奨測定距離は50～70cmです。2. 対象者が画面上の人間の形に近づいて、額の中心を赤い円に合わせているか確認してください。3. 額が前髪、帽子、サングラス、またはその他の物体で覆われていないかどうかを確認します。その

障害/症状	ソリューション
	<p>場合は、温度測定の前30秒～1分前に、そのような障害物を取り除くようにしてください。</p> <p>4. 体表温度が低すぎないか確認してください。人が屋外の低温環境から測定エリアに来た場合、その人は温度測定前に5分間、このエリアで待機する必要があります。</p>
<p>デバイスで測定された温度が不正確な場合はどうすればよいですか？</p>	<p>1. デバイスは、電源投入後に予熱する必要があります。最適な温度測定状態になるのは15分後です。</p> <p>2. 対象者が画面上の人間の形に近づいて、額の中心を赤い円に合わせているか確認してください。</p> <p>3. 額が前髪、帽子、サングラス、またはその他の物体で覆われていないかどうかを確認します。その場合は、温度測定の前30秒～1分前に、そのような障害物を取り除くようにしてください。</p> <p>4. 低温、高温、強風の環境で使用していないか確認してください。温度が15℃から30℃の、屋内の無風環境にデバイスを設置するようにしてください。</p>
<p>測定中に高温アラームが報告された場合はどうすればよいですか？</p>	<p>1. 高音の場所から移動した直後、激しい運動の直後、あるいは温かい飲み物や温かい食べ物を持ち運んでいるなど、体温に影響を与える行動がなかったを確認します。その場合、対象者は測定エリアで安静に待機し、5分後に温度を測定する必要があります。</p> <p>2. デバイスが過熱した環境で使用されていないのかも確認してください。温度が15℃から30℃の、屋内の無風環境にデバイスを設置するようにしてください。</p>

障害/症状	ソリューション
	3. 再チェックには医療グレードの温度測定装置を使用してください。

6 特記事項

1. この製品は、医療グレードの温度測定チップをベースに、独自に開発したものです。通過する対象者に接触することなく温度を測定し、高熱を検出した時にはアラームを生成することができます。温度測定の偏差は $\pm 0.3^{\circ}\text{C}$ です。
2. 本製品は、異常体温の人の予備的なスクリーニングにのみ使用してください。また、屋外で使用した場合の効果は保証できません。
3. 本製品は、精密な医療診断装置ではなく、表面温度スクリーニング装置です。測定結果は、屋内 15~30 $^{\circ}\text{C}$ の無風環境にいる人のリアルタイムの温度のみを表します。弊社は、測定結果の偏差によって引き起こされた直接的または間接的な損失について責任を負いません。
4. 最初の測定者のスクリーニング測定結果が、異常体表温度があることを示している場合、測定結果の信頼性を確認するためには、医療グレードの温度測定装置をご使用ください。